

<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行かなかった (以下1~5には回答不要)	
1.申請先	
2.申請時期	
3.必要書類	
4.具体的な手続き	
5.注意点等	

3. 住居の確保

どのように住居を見つけましたか？	
<p>学生寮。SoihtuとKOASの選択肢があるが、Soihutuがお勧め。Soihtuは、寮生が使えるサウナ・ジム・24時間開いている自習室・レストラン・ランドリー・団らん室・予約制パーティールーム等々、設備が整っている。寮の棟によるが、新しい棟に当たればかなり綺麗。基本3人部屋だが、最上階は4人部屋。同じ部屋でも個室によって家賃が変わる(家具・場所・広さによって違う)。選べる訳ではなく勝手に割り当てられる。</p>	
住居の申し込み手順	
オンライン申請。	
渡航前に支払った費用とその内訳	
費用： 約4万円 (人によるのであくまで参考) 円	内訳： 初月費用
住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 寮 (寮の名前： Soihtu) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (4人部屋)
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()
設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
<p>WiFiは付いている。シャワー・トイレ (1つは独立で1つはシャワーと同空間) ・キッチンが共有スペース。個別の部屋にはベッド・勉強机・クローゼット・棚。家賃が高い友人は、小さいソファや勉強机にちょっとした棚が付いていた。無くても暮らすには十分。</p>	
食事	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜) <input type="checkbox"/> 外食
大学までの通学手段/通学時間	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> ترام <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input checked="" type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 () 通学時間合計： 自転車15分・徒歩30分・バスで10分 分	
住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	
<p>Soihtuをお勧めする。KOASの友人に話を聞くと、部屋の広さや設備 (ジム・サウナ・自習室等) の違いを強く言っていた。KOASには電子レンジなどのキッチン用品も十分でないらしい。私は申請の際に特に希望を書かなかったが、ルームメイトが全員日本人だった。海外の人とルームメイトになりたいのなら、希望欄に書くと良いと思う。しかし、希望欄に書いたにもかかわらず、日本人のルームメイトになっていた友人もいたので、渡航前にルームメイトの国籍を聞くなど、何度の確認する必要があると思う。来てからの変更は、部屋の空きがないためほぼ不可能。</p>	

●滞在先の変更について

留学中に引っ越しや滞在先の変更は行いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下1~10には回答不要)	
1.どのように住居を見つけましたか？	
2.住居の申し込み手順	
3. 費用の合計とその内訳	
費用： 円	内訳：

4.住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ	<input type="checkbox"/> 寮 (寮の名前:)
<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他 ()
5.部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
6.ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()
7.設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
8.食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜) <input type="checkbox"/> 外食
9.大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> トラム <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間合計: 分	
10.住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	

4. 保険への加入

日本で加入した海外傷害保険について	
<input checked="" type="checkbox"/> 大学からの紹介で加入した <input type="checkbox"/> 自分で保険会社を探して加入した <input type="checkbox"/> その他 ()	
保険の費用:	円/ ヶ月分
留学先での保険について	
<input type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険があった <input checked="" type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険はなかった (以下の質問には回答不要)	
<input type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険があったが、日本で加入した海外傷害保険により免除申請をし認められた	
費用:	円
具体的な加入手順や支払い方法等:	

5. 航空券手配

利用航空会社	JAL
費用	(<input checked="" type="checkbox"/> 片道 / <input type="checkbox"/> 往復) 28万 円
渡航経路	伊丹→羽田→ヘルシンキ→(電車) ユヴァスキュラ
航空券手配方法 ※利用した旅行サイトや旅行会社、比較サイト等があれば記載してください。	
skyscannerで料金比較をして航空会社を選び、サイトからではなく航空会社から直接購入(手数料等の関係)。	

6. その他の事前準備

その他、済ませておくべき準備があればお書きください。(現金の両替, 携帯電話解約, 荷物発送等)
現金の両替 (ほぼ現金は必要ないが、割り勘等で人との間での交換の際に必要)

●現地到着後～授業開始までの日程 (入学手続き・オリエンテーション・プレイメントテスト等)

項目	内容
到着日時	8月 5日 時
到着空港名	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港
キャンパスや滞在先への移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> ホストファミリーの出迎え <input type="checkbox"/> 知人等の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (-がユヴァスキュラの駅ま)
公共交通機関やタクシーで移動する際の行き方	ヘルシンキの空港から電車でユヴァスキュラに向かう。1回乗り換えが必要(Tikkulilaで乗り換えた)。約
移動にかかった費用	チケットを取る日により値段は変わるが、20ユーロあれば移動できると思う。
※以下、授業開始までの日程	
8月 8日	Survival Finnish(サマーコース)
8月 18日	サマーコース終了
9月 7日	授業開始
月 日	
月 日	

●現地到着後の手続き

1. 滞在許可書等の申請

現地で滞在許可書や住民登録等の申請は必要ありますか？	
<input type="checkbox"/> 滞在許可書の申請が必要 <input type="checkbox"/> 住民登録の申請が必要 <input type="checkbox"/> 特に必要な手続きは無い (以下の項目には回答不要) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特に必要ないが知ら)	
必要書類：	ビザ申請時に用意した書類を持って行ったがどれが必要だったかはよく覚えていない。
申請時期：	
申請方法：	オンラインで申請予約をしてオフィスに直接申請に行く。
費用：	無料
取得に要した日数：	1 週間
注意点等：	
銀行口座の開設	
<input type="checkbox"/> 現地で銀行口座を開設した <input checked="" type="checkbox"/> 銀行口座は開設していない (以下の項目には回答不要)	
銀行名：	
必要書類：	
開設時期：	
開設方法：	
費用：	
開設に要した日数：	
注意点等：	
携帯電話の購入	
<input type="checkbox"/> 現地で携帯電話を購入 <input checked="" type="checkbox"/> 現地でSIMカードを購入 <input type="checkbox"/> 日本でSIMカードを購入 <input type="checkbox"/> 特に何も購入していない (以下の項目には回答不要)	
必要書類：	特になし
購入時期：	到着日
購入方法：	R-kioskというコンビニのようなところで購入。
費用：	
注意点等：	
その他、現地で行った手続きがあれば記載してください。	

●留学総費用概算

	金額		備考
授業料		円	
宿舍費	月約4万×10か月	円	
食費	月約2万×10か月	円	
教材費等	0	円	
保険費(日本)		円	
保険費(現地)		円	
医療費		円	
渡航費	往復56万(?)	円	
ビザ申請関連費		円	
予防接種費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	116万	円	

●現地での決済方法について

現地での主な決済方法を教えてください。
<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード/デビットカード <input type="checkbox"/> その他()
現地での現金調達はどうに行いましたか？(例：国際キャッシュカードを作成し、現地のATMで引き出した。)
渡航前に3万円分ほど換金し、それで1年過ごした。最後は現金を使うように心掛けたが、20ユーロくらい余った。

●健康状態について

現地で病院にかかったことはありますか？
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)
治療の内容、治療費、海外旅行傷害保険の利用について、病院利用についてのアドバイス 等

●現地の治安について

盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことがありますか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)	
詳細：	
対応について：	

●現地では調達できない、日本から持っていくべきものがあれば教えてください。

日本食(調達できない訳ではないが、高い。)基本調達できないものはないが、費用を抑えたいなら持っていくのが良いと思う。
--

- 留学先での履修科目について ※全留学期間分を記入してください。

留学先で取得した単位数合計		credit
		ECTS
本学で認定された単位数合計		単位

- 履修登録の方法 (留学前半分)

履修登録の時期	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録 <input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 到着後	<input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際センター等の仲介 <input type="checkbox"/> その他 ()
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加・削除できましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 変更できた <input checked="" type="checkbox"/> 追加できた <input checked="" type="checkbox"/> 削除できた <input type="checkbox"/> 更できない	
履修登録の際の注意点等があればお書きください。	
とてもフレキシブルなので、興味のあるものはとりあえず取ってみて、1回目の授業で様子を見てから削除もできる。何か不都合や希望があってもメールで聞いてみれば何とかなる。	

- ※以下は留学先で履修した科目 (留学前半分) ごとに記載してください。

1	コース名/科目名	Survival Finnish
	担当教員名	Joha- Matti Pekkala
	時間数 (1週間当たり)	180分×8回 2週間で
	授業内容	フィンランドで生活していくにあたり必要な最低限のフィンランド語を学ぶ授業。自己紹介、挨拶、数字、店(カフェ・バー・スーパー)での注文方法など実用的なものを中心に学習した。学習開始2・3日で街中からの会話の中の単語が聞き取れるようになった。全8回だったが、内容が濃く効率的に学習ができたと感じる。グループワークやペアワークが中心。またアプリを使って街中に出て実際に使われているフィンランド語を見て学ぶ、などクラス内だけで完結しない授業だった。
	試験・課題等	課題は毎日出たが、少しの復習問題と次の日の予習になるような練習問題や動画視聴など、量も程よく負担はあまりなかった。授業教材は特になく、Moodleにスライドがアップされてそれで完結されている。(タブレットが無かったり紙媒体が良ければ紙でもらうことも可能。ただし、スライド全てというわけではなくクラス内アクティビティの内容のみ。頼めばもらえそうな雰囲気。) 最終テストは、リスニングと読み取り。リスニングはフィンランド語で質問や挨拶が流れてその答えに対するフィンランド語の答えを書く、というようなもの。リーディングはフィンランド語の広告からイベントの開催場所・時間・曜日等、読み取れるものを書き出すというもの。授業内でも学食でのメニューの読み取りなど実用的な練習がされていたが劇の広告の読み取りは難しく感じた。
	感想・自己評価等	この2週間のサマーコースで交友関係が広がるので履修をお勧めしたい。名前の通り最低限のフィンランド語の知識を得られるため、楽しかった。

2	コース名/科目名	My Finnish
	担当教員名	Reetta Niinisalo
	時間数 (1週間当たり)	90分週3回 5 ECTS
	授業内容	Survival Finnishの発展の授業。最初の数週間は内容がかぶっているがそれが終わると一気に発展していく。週3回の授業で授業スピードも速くテストも3回あった。フィンランド語はかなり難しいので修得は大変だが、このクラスを取っている人たちはみんな同じ状況からのスタートなので、サポートし合いながら進めていきかなり楽しい授業だった。授業が進む度に理解できるフィンランド語が増えるのでフィンランド人の友人との会話や日常生活での理解度の上昇などからモチベーションも保つことができる。
	試験・課題等	中間テストと最終テストはリスニング・ライティング・リーディング・スピーキングの4技能を測るもので(中間は最終に向けての練習テストのようなもの)学習範囲全部の復習が必要になる。
	感想・自己評価等	Survival Finnishの発展なのでさらに知識を付けることができる。覚えた知識をフィンランド人との会話にも使えると喜んでもらえるし自分も楽しくなる。レベルが上がりが大変だったがやりがいのある授業だった。

3	コース名/科目名	Education in Finland
	担当教員名	Elisa Heimovaara
	時間数 (1週間当たり)	90分×7 lectures 3ECTS
	授業内容	毎週の講義授業でフィンランドの各段階 (幼稚園から大学) の教育について学ぶ授業。フィンランドの教育について関心がある人が多くとっている授業なのでほぼ全員が留学生だった。
	試験・課題等	課題として、①最終テスト (オンラインで2回受験可能)。このテストを受けるために資料を読む必要があり、資料の中からも出題される。この資料の量が地味に多い。②グループワークで各国の教育を比較してまとめる。③②を見てフィードバックを全グループに返す。①は●×問題と記述問題がありかなり細かい所まで聞かれるものだったので簡単ではない。②3-4人グループを組んで期限までにフィンランドも含めた各国の教育を比較しクリエイティブな方法での発表が求められる。資料をアップする形式なので全員の前で発表する必要はないが、漫画を作るグループ・ラジオを作るグループ・動画を撮って編集するグループなど工夫を凝らす必要があった。
感想・自己評価等	私はイスラエル人と台湾人とグループを組み、クイズ形式で各国の比較資料を作った。グループミーティングはグループごとにセッティングする必要があるのでコンタクトを取り合う必要があるし、グループを組むのも個人的にする必要がある。日本人留学生が多かったので、他の国出身のことがグループを組むことは大変だったが、良い機会なので個人的には別の国出身の人とグループを組む事をお勧めしたい。	

4	コース名/科目名	Issues in Education
	担当教員名	Elisa Heimovaara
	時間数 (1週間当たり)	数回の講義とIndependentの並行 5ECTS
	授業内容	様々な側面から教育問題を考える。
	試験・課題等	Lectureと書かれていたが、実際は講義ではなく個人ワークが多かった。課題として、①10個のLearning diary (1-2ページ×10) ②最終レポート (5-7ページ) だ。①は録画されている講義を聞いて書くorセミナーに参加して書くもので、最低2回はセミナーに参加する必要がある。講義内容は多様であり、根底は教育だが教育に繋がる多様な問題についてのものが多い印象を受けた。自分の関心分野を選んで取り組むことができたため、為になる授業であった。私は3つほど録画を見てその他はセミナーに参加してレポートを書いた。録画or参加の割合も個人の好みによって調節できるので問題はない。②の最終レポートは少し多いと感じるが、指定された文字幅やフォントの大きさを踏まえると想像よりは莫大な量ではないが、文字数にすると1500文字くらい。
感想・自己評価等	課題の量は一番大変だった。様々な側面から教育に関して考察できるため新たな発見が多く充実した。	

5	コース名/科目名	Special Education Learning Environments
	担当教員名	Salla Vehkasalo
	時間数 (1週間当たり)	実習型
	授業内容	実際に現地の学校を訪ねて調査をする授業。訪問先の学校は自分たちの希望で選べる。Special Educationの科目ではあるが、言語教育に特化したクラス、通常級クラス、パートタイムサポートがされているクラス、支援級クラス等、自分の興味のある分野のクラス (小学校から中学校) を選択可能だった。2人ペアで約1週間、実際の授業を見学する。授業期間は3カ月に設定されているが、実際は初めの授業で訪問先を決め、訪問期間に1週間ほど訪問し、最終授業でディスカッションとフィードバックを行うので、毎週の授業というわけではなかった。課題としては、①実習のまとめとしてペアで2分ほどの動画を作る。②個人で実習のレポートを3000-4000字にまとめる。②に関しては各自でテーマを決められるので、自分の関心分野についての学校見学を通しての見解を書くなどが主な内容であった。見学は1週間ほどだけであったが、百聞は一見に如かずとはこのことであり、実際の現場を見ることはかなり刺激的で沢山の発見がある。フィンランドの教育に関心のある人にとってはかなり充実した授業だと思う。注意点として、訪問先の学校の決め方がかなり雑だったので記しておきたい。挙手制で先生があてた順に席を取れる形であった。被っても早いもの順。手を挙げていても先生があてた順に決まってしまうので絶対に行きたい学校があれば一番にアピールをして当ててもらわなければならない。私の場合、ずっと手をあげていて当てられたのが最後の方だったので第一希望は埋まっていた (正直現場を見ることができたので良かったので訪問先は特に気にはしていなかった)。しかし、フィンランドの教育はどこを切り取っても勉強になるので結局は問題なく充実したものになったが、"絶対"があるのなら一番当ててもらおうとベストだと思う。
	試験・課題等	実習のペアでプレゼン。最終回にディスカッションとフィードバック。3000-4000字の最終レポート。
感想・自己評価等	個人的に一番刺激的な授業だった。教育に興味がある人は絶対に履修するべきだと思う。	

3	コース名/科目名	Disability studies
	担当教員名	Raija Pirttimaa
	時間数 (1週間あたり)	グループワークなので不定期
	授業内容	初回の授業でグループを組み、それ以降はグループ内でディスカッションミーティングの予定を組んでいくスタイルの授業。各階ごとに与えられたテーマに関する資料リストの中から各自の担当を決め、ミーティングまでに読んで内容をメンバーに話しディスカッションをする授業。
	試験・課題等	各ミーティング回ごとにメモを取り、最終エッセイをグループメンバーで共同で作成する。
	感想・自己評価等	各自の担当資料が違うので、内容を簡潔に分かりやすく説明するのが難しかった。最後までやり遂げて達成感を一番感じた授業だった。

4	コース名/科目名	Introduction to multilingual communication
	担当教員名	Lotta Kokkonen
	時間数 (1週間あたり)	週 1日 90分
	授業内容	文化や言語など国際交流をする際に必要な要素についての理解や思考を深める授業。
	試験・課題等	毎回の授業のlearning diaryを書いて提出。
感想・自己評価等	テーマが身近で興味深い内容だった。	

5	コース名/科目名	Each one teach one
	担当教員名	Essi Koskela
	時間数 (1週間あたり)	ペアでのものなので不定期
	授業内容	日本語ネイティブ話者としてフィンランド語を学びたい私と、フィンランド語ネイティブ話者で日本語を学びたい人とをマッチングし、各自20時間文時間を作って言語や文化交流をする科目。
	試験・課題等	毎回ミーティング後に記録を書き提出。
感想・自己評価等	日本語ネイティブでいると気づかない疑問点や日本の”あたりまえ”を疑う機会になり興味深いものだった。	

6	コース名/科目名	
	担当教員名	
	時間数 (1週間あたり)	
	授業内容	
	試験・課題等	
	感想・自己評価等	

● 1週間のスケジュール (授業・課外活動・勉強・プライベート等 毎日の生活について記入してください。)

	(例)	月	火	水	木	金	土	日
6:00								
7:00	起床							
8:00								
9:00	授業							
10:00	授業							
11:00	授業							
12:00								
13:00	授業							
14:00	授業							
15:00	授業							
16:00	買い物							
17:00								
18:00	友人と過ごす							
19:00								
20:00	勉強							
21:00	勉強							
22:00								
23:00	就寝							

●留学前半の感想について

留学先国・留学先大学・プログラム・授業・滞在先・私生活・授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）等について、自由に書いてください。

留学先国の特徴や雰囲気等
ユヴァスキュラは、自然が豊かな学生の街と言う印象。元々フィンランドが好きだったので最良目もあるかもしれないが、人が優しく落ち着いた雰囲気の国だと思う。基本的にどこでも英語は通じ、困っていたらとても親切に助けてもらえる。ゆったりとした時間の中で充実した学習ができる。
留学先大学の特徴や雰囲気等
留学生が多く多国籍だなと感じる。図書館では常に学生が勉強しており、施設も十分すぎるほどに充実している。学食もキャンパス内にレストランがいくつかあり、気分によって色々な場所で食べることができる。日本に興味のあるフィンランドの学生が多く、関わるコミュニティがいくつかあるのも大きな特徴だと思う。
授業について
取る授業により内容はかなり異なるが一貫して言えることはとても柔軟に対応してもらえるということだと思う。とにかく掛け合ってみると何とかできることが多い。どれも充実した内容で勉強しがいのあるものばかりだと思う。
課外活動（ボランティア、サークル等）について
大学主催のイベントがいくつかあり、それにボランティアとして参加できる。「フィンランドのボランティア」を経験できる貴重な機会を得るものが多い。
滞在先（寮や一人暮らし等）の環境について
寮の設備も充実しており特に問題はない。Student Villageなので勉強して生活するための設備が整っていると感じる。
現地での生活
憧れていた国で勉強をしながら生活ができていることに充実感を覚えている。フィンランド特有の寒さや特に暗さに関しては気持ちの面で大変なこともあったがこれもフィンランドならではの経験だと思うと貴重な体験である。
留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイス
勉強したい分野や自分自身の関心事を追求することが何よりも充実感に繋がります。現地の大学の授業を受けられるのは交換留学制度の醍醐味です。また、ユヴァスキュラ大学は留学生に向けたイベントが沢山あるので、それを上手く活用することで交友関係を広げることもできます。個人的には、フィンランド語をある程度理解できるようになると更に面白いと感じます。
留学前半の反省・留学後半に向けての意気込み・目標
残り数ヶ月で個人的に控えている大きなイベントが3つあります。まずはそれらを全力で取り組むことを短期目標にしています。留学前半である程度見えてきた自分の将来の方向性について帰国前に上手く固められたらと思います。

留学体験談の執筆依頼について

以下の留学体験談は、記入必須ではありませんが、留学を目指す学生にとって大変貴重な資料となります。できる限り、記載いただきますようお願いいたします。

留学のきっかけ
<p>高校生の時、日本の教育について興味を抱き、今後の進路として教育学を勉強することを志すようになりました。その中で、世界を見た際にフィンランドが教育水準がトップレベルである事に加えて、国民の幸福度が世界一という両立を果たしている事に興味を抱き、「いつかフィンランドに行って教育学を勉強したい」と思うようになりました。大学受験時の志望校を選ぶ際にフィンランドの中でも教育学に強いユヴァスキュラ大学を留学協定校に持っている大学を探し、実家から通える京都産業大学を受験をしました。大学入学と同時にコロナの世界的流行があり、一時は留学にいけないのではと不安に思っていたのですが、無事留学ができるようになり選考に選ばれ晴れてフィンランドに行くことが出来ました。</p>
留学先国、大学を選択した理由
<p>世界的に教育水準が高いこと、同時に国民の幸福度が世界一と言うことでこの二つの結果をどのように実現しているのか興味を持ったため、フィンランドを選びました。また、日本のような数えきれない数の大学はフィンランドにはなく、各大学に強い学部がいくつかあり、私が専攻したかった教育学はユヴァスキュラ大学が一番だと知り、ユヴァスキュラ大学を志望しました。</p>
留学先大学での授業・学習内容・試験・課題・について
<p>1 セメスター目は抽象的な”フィンランドの教育”について大まかに勉強ができる授業を積極的に取り、サマーコースで少し勉強したフィンランド語も続けて勉強しました。2 セメスター目は大まかな概要を知るうえで興味を持った特別支援教育に焦点を当て、特別支援教育関連の授業を取って行きました。フィンランド語も続けて最後まで勉強をしました。1 セメスター目は座学が多く、レポート課題やテストがありましたが、2 セメスター目はグループディスカッションなどのグループワークが中心でした。どちらもそれぞれにしんどさがありましたが、どの勉強も充実したもので苦ではありませんでした。</p>
滞在先について
<p>学生寮に住んでおり、4人でルームシェアをしていました。初めの頃はどのような距離感でいけばよいのか分からず部屋にこもる時間も多かったのですが、徐々に仲も深まり数か月後にはくだらない話から将来の話など深い話までできる安心感のある家になりました。</p>
留学先国や大学の雰囲気について
<p>英語開講の授業なので、基本はフィンランド人よりも別の国からの留学生が多かった印象です。日本に興味のあるフィンランド人が想像以上に多く、交流の機会も沢山ありました。最終的にはフィンランド人の友人の方が多かったような気がします。</p>
友人関係について
<p>ほとんどの留学生が学生寮に住んでいるので休日は部屋に集まって一緒にベイキングをしたり映画鑑賞をしたりしました。寮のすぐ近くに森があったりと自然豊かな場所なのでフィンランドならではの娯楽なども存分に楽しみました。</p>
苦労したことや大変だったこと
<p>冬の日照時間について。10時頃にだんだんと明るくなり、15時ごろには日が沈む生活が何カ月も続き、気づかぬうちにメンタルがやられていました。天気については自分の力でどうにもできない部分なので、自分なりのリフレッシュ方法を見つけ無理やり気分を晴らしていました。天気に気分を左右されることはこれまで特になく、留学前も「外がくらいだけやん」と軽い気持ちでいましたがそんな甘いものではありませんでした。</p>

授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）について
現地の学校訪問、交流イベントの主催ボランティア、サウナイベントのボランティアなど
留学経験から得たこと
沢山の友人と語学力、今後の夢、生活スキルやサバイバルスキル、沢山のものを得ることが出来たと思います。現地に行ったからこそ分かる事、10か月暮らしたからこそ理解できること、ユヴァスキュラの環境で生活をしたからこそ感じられた幸せがあったように思います。
これから留学する方へのメッセージとアドバイス
学部留学の交換留学だからできる、関心分野の勉強の楽しさを存分に味わうことが出来る貴重な機会でした。まだほんの20年ほどしか生きていませんが私の人生のハイライトに残る特別な期間になりました。日本が小さいのではなく世界が広すぎる。少しの勇気と好奇心で得られるものが大きすぎた。見える世界、知っている世界が広がった今これからの自身の将来にワクワクしています。挑戦した結果が良くても悪くても、人生の経験値が上がると思えばワクワクしませんか？やらぬ後悔よりやる後悔だと思います。たかが10か月、されど10か月。経験は誰にも奪われない自身の財産になると思っています。
今後の進路や目標等
フィンランドで見つけた、今後の夢を叶えられるように邁進したいと思います。生きている間にできることはどんどんチャレンジして後悔のない生き方をしたいと思います。

・留学の様子が見える写真（2～3枚）があれば、以下に添付してください！